

## 日中ポライトネスの対照研究：中国人日本語学習者への指導方法開発に向けて

平, 静

<https://doi.org/10.15017/1654602>

---

出版情報：九州大学, 2015, 博士（比較社会文化）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名 : 平 静

論 文 名 : 日中ポライトネスの対照研究  
—中国人日本語学習者への指導方法開発に向けて—

区 分 : 甲

## 論 文 内 容 の 要 旨

本論文は、日本人と中国人のポライトネスに関する認識およびその認識に基づく言語行動を分析することで、「日本語ポライトネス指導の実用化」を目指すものであり、中国における日本語教育および日中異文化理解教育において、異文化コミュニケーション能力の養成に資することが期待される。

本論文は全6章から構成される。

第1章序論では、本研究の目的、研究対象、研究方法、論文の構成などについて述べた。

第2章では、ポライトネスの主な先行研究を、ポライトネスの枠組みに関するもの、日本語ポライトネス研究、中国語ポライトネス研究、日中・日米対照研究に分類して概観した後、本論文の立場を明らかにした。

第3章以降が本論である。第3章では、自ら録音、文字化したインタビュー番組のデータを分析することで、日中両言語で使用される具体的なポライトネス・ストラテジーの特徴および、それぞれのストラテジーの使用率の類似点と相違点を明らかにした。その結果、日本語でも中国語でも、ポジティブ・ポライトネス（認められたいという欲求を満たすことで示されるポライトネス）でFTA（相手のフェイスを脅かす行為）を緩和し、相手との距離を縮めようとするストラテジーがよく使われていることがわかった。日中両言語のポライトネスにおける一番大きな違いは、ネガティブ・ポライトネス（自らの行為を妨げられたくないという欲求を満たすことで示されるポライトネス）に対する認識の違いであった。特にネガティブ・ポライトネスの「敬意を払う」というストラテジーについては、日本語と中国語の言語形式及び社会慣習の相違が、両言語におけるポライトネスに対する認識および敬意を示す様式に大きな影響を与えていることが明らかになった。

第4章においては、中国で日本語を専攻とする大学生（以後学習者）と日本語母語話者（以後母語話者）を対象にポライトネス意識の類似点と相違点を調査分析した。その結果、対話者間の関係が「疎」の場合、学習者は垂直方向の人間関係である上下関係を最も重視しているのに対して、母語話者は水平方向の人間関係である内外・親疎関係をより重要だと考えていることが分かった。また、学習者は「上」である人が普通体を使うのが適切かどうかについて「上下」と「場」によって判断する一方、母語話者は「親疎」と「内外」という視点から判断した。次に、「親」の関係の場合、日本語においては基本的に「私的な場面での親子」の会話は普通体で話す、「表現意図」によって敬語を使うことが認められる。一方、学習者の多くは、家族の会話については、「上下」より「親疎」を重視しており、「表現意図」があっても丁寧体の使用は「不自然」と見なされた。また、対話者が「同且つ親」の関係を持っていても、話の内容が相手に被害を与える可能性が高い時は、半数近くの学習者は、FTAの度合いが高いと判断しネガティブ・ポライトネス・ストラテジーが使われると考えた。

第5章においては、中国人学習者が誤解しやすい日本語のポライトネスに関して、学習者と母語話者との使用実態を比較した。母語話者と学習者の被験者に、日本語の敬語を含んだメール文を示し、適切かどうか、また不適切と思う場合はその理由を書くと同時に修正するように指示した。分析の結果、上級日本語学習者は日本語ポライトネス表現の語形上の誤用は少ないが、運用上の誤用が多く、取り分け「恩恵行為に対する配慮意識」が不足していることが明らかになった。

終章たる第6章では、本研究のまとめ、日本語教育への示唆と今後の課題について述べた。

本研究では、先行研究を踏まえた上で、主として対照分析的観点から、日中ポライトネス・ストラテジーの特徴の類似点と相違点を明らかにした。またその結果に基づき、対人関係の視点から日本語母語話者と中国人日本語学習者におけるポライトネス意識の相違を究明した。さらに、アンケート調査を通して、中国人日本語学習者のポライトネス表現に存在する問題点および日本語のポライトネスに関する意識を明らかにした。これらの結果を基に、具体的な例を挙げながら、学習者に対して日本語と中国語の違いを認識させるようなやり方で日本語ポライトネスを指導する方法を例示した。本研究を発展させることで、中国における日本語教育および異文化理解教育におけるポライトネス指導の実用化に資することが期待できる。